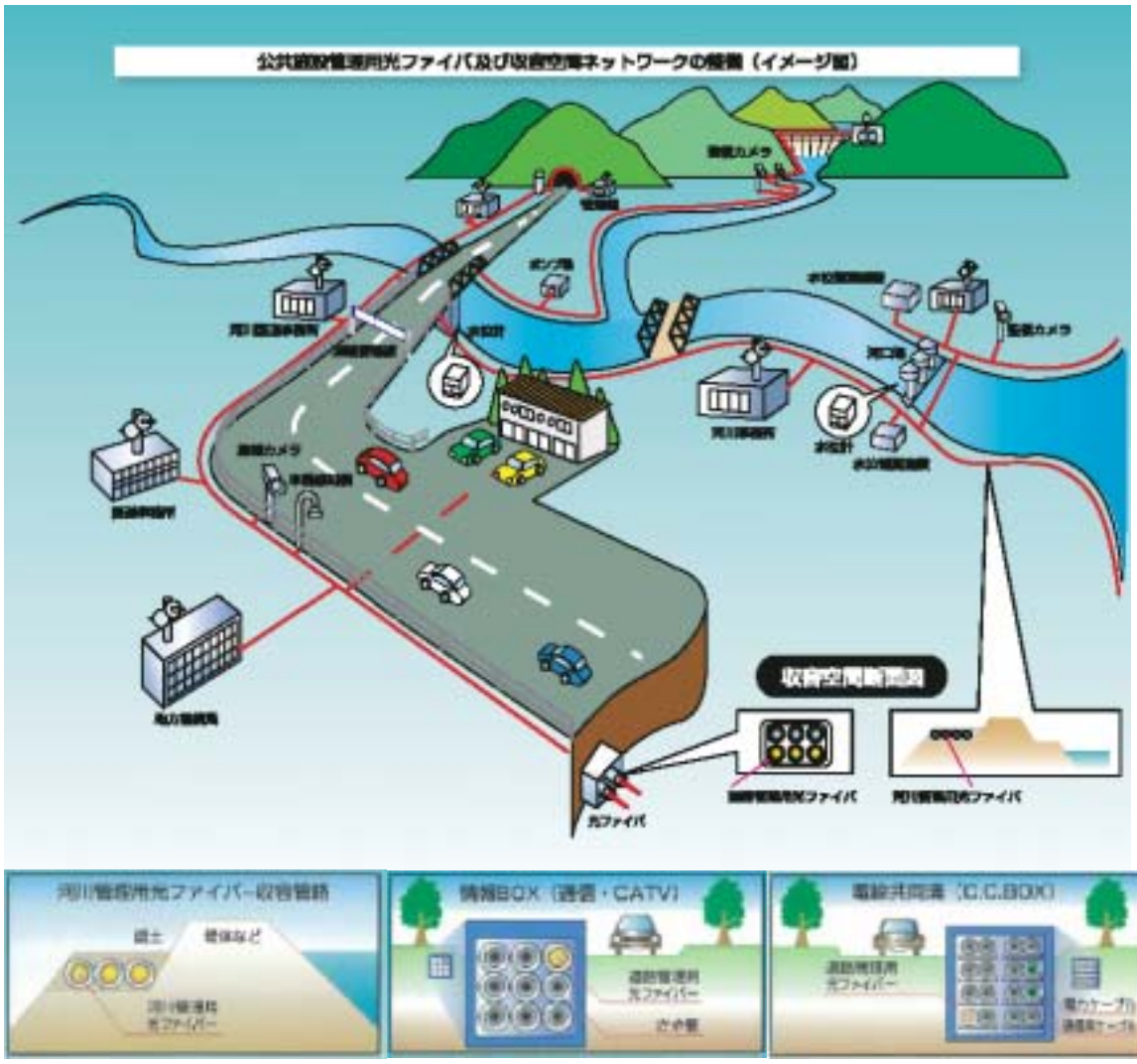


河川・道路管理用光ファイバとは、何ですか?

河川・道路管理用光ファイバとは、
河川、道路管理のために河川、道路に敷設された光ファイバのことです。
主に高速・大容量通信が可能な光ファイバの特性を生かして、
CCTV、センサ、河川・道路情報板、情報コンセント等情報の集配信、施設の遠隔操作等に使用されています。
光ファイバケーブルの芯線数は、敷設箇所によって異なりますが、一般的には100芯程度あります。
そのうち、利用可能となるのは、箇所によって異なりますが、約１～３割程度となる見込みです。
ただし、箇所によっては全て施設管理用として使用（予定を含む）しているため、
利用可能な芯線がない箇所も存在します。